


歯磨きのしかたが分かるようになるための支援 「はみがきの模型」

子どもについて	所属・学年	幼稚園・集団
	障がい名等	
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	・3歳児から取り入れているが、幼児は口の中という見えない部分を想像しながら歯を磨くということが苦手であったり、歯ブラシを入れることに抵抗感を持っていたりすることがある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	はみがきのしかた
	単元(題材)名	
	単元(題材)の概要	・子どもの発達の段階に応じて、歯磨きの仕方を指導できるようにする。 ・歯磨き教室の事前学習として取り入れている。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○磨いている位置や順番がわかり、自分から歯磨きをすることができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口や歯を見やすく大きく作り、歯ブラシも動かせるように作ることで、子どもたちがまねをしながら歯磨きの練習ができるようにする。 ・「(模型の) お友達の歯も磨いてあげようね」などと声をかけながら練習したり、歌いながら磨いたりすることで、親しみを持てるようにする。
	材料・作成方法等	
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きが苦手だった子ども、教師と一緒に取り組めるようになったり、自分で磨いたりできるようになってきた。 ・歯の位置の言い方(上の歯、奥歯など)がわかり、自分で歯ブラシを動かせるようになってきた。